

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [兵庫県立芦屋国際中等教育学校] 担当教諭名 [亀野 桂子・新海 美幸] (3年B組 40名)

相手国・地域 [スロバキア]

海外学校名 [School of Art Industry] 担当教諭名 [Pavel Michalic]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な探究の時間	アートマイル(協働)	22
	学活	アートマイル(協働)	22

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Let's bloom the flower on the Earth together!
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	「一緒に地球に花を咲かせましょう！」 それぞれの国が抱える「陸の豊かさ」に対する課題を理解した上で、環境破壊や温暖化を止めて、緑と花であふれる地球を目指そう！という思いが込められている。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
「陸の豊かさも守ろう」というテーマについて、自分たちで調べることで、何が問題で地球環境のために何をすべきかを理解できた。 完成した作品を見た時の喜びと達成感は大きかった。	相手校とビデオ会議をするにあたり、いろいろと質問を用意したり、作品についての議論ができるように準備したりして臨んだが、相手校はそれについて話し合っていなかったのか、あまり活発な議論ができなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
自分たちの住む日本と相手国では問題視する事柄が違うということを知り、それぞれの国の事情に思いを馳せることができた。 また、海外の学校と協働するにあたり、意見の食い違いやスケジュール調整など、難しいことがあることを実感した。	調べ学習やデザイン案の検討などに、非常に意欲的に取り組んでいたのが、生徒の今まで知らなかった一面を発見することができた。 海外の学校と交流するためには、想像以上に準備が必要なことがわかった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 ～ 8月	・アートマイル活動の目的、相手国、相手校について知る。 ・ビデオミーティングで顔合わせをし、班ごとに学校紹介ビデオを作成して送信する。	・活動の目的や相手国・相手校を理解した。 ・班ごとに紹介ビデオを作成し、ビデオミーティングの準備をした。	探究 学活
共有 テーマ学習	9月 10月	・SDGsのGoal15「陸の豊かさを守ろう」について各班で調べ、内容を発表する。	・調べる内容が多岐にわたるように調整し、なるべく多くの情報を共有できるようにした。	探究 学活
融合 メッセージ作成	10月 11月	・相手校と、世界に向けて発信するメッセージについて話し合い、デザイン案を協議する。	・各班が話し合ったテーマの中から、候補を絞った。 ・テーマをもとに、デザインや構成について話し合った。	探究 学活
創造 壁画制作	11月 12月	・相手校と合意したテーマとデザイン案をもとに、制作作業に入る。 ・壁画と並行して、日本文化を知ってもらうため、日本のおもちゃを作り、完成した壁画とともに送る。	・全員必ず何かの作業に参加し、協力して壁画を作成した。 ・時期的にクリスマスだったので、カードやすごろく、福笑いなどを作って同封した。	探究 学活
評価 振り返り 自己評価	12月 ～ 3月	・相手校から送られてきた完成作品を鑑賞して、アートマイル活動の振り返りと自己評価を行う。	・相手校から壁画作成中の写真が送信されてきたので、各班でコメントを考え、返信した。 ・完成品を実際に見た時は、大きな歓声が上がった。	探究 学活

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	日本の環境問題に関する事情と相手国の事情が違うということを理解することで、異文化に対する視野が広がり、理解が深まった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	相手校の取り組みに対する熱量と自分たちの労力の差に悩むこともあったが、自分たちにできることは何か、今、何がもとめられているのかを客観的に考えることができた。
主体的に考え行動する力	5	壁画や発表動画を作成するにあたって、自分は今、何をすべきかを考え、協力して作品の制作に取り組むことができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	自分たちの考えたデザイン案を相手校にどうやって説明するかなど、班員と協力して原稿を考えた。その作業を通して、普段はあまり交流の無いクラスメイトとも親しくなっていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	「世界に向けて発信したいテーマ」にふさわしい、明るい作品を作ることができた。環境問題は解決方法が見えず、ネガティブなことの方に目がいってしまうが、お互いの国の花を描くことで、未来に向けての前向きなメッセージが伝わる作品を完成させることができた。